

研究課題名

愛知県下における常位胎盤早期剝離症例の管理実態と母児の予後に関する調査
に関する情報公開

1. 研究の対象

2012年に発症した早剝症例

2. 研究目的・方法

早剝をどのように管理したら母児共に予後を改善できるかを目的としています。
2012年に発症した早剝症例の詳細を解析し、母体や児の予後が悪かった症例と良
かった症例でどのような違いがあるのかを明らかにしていく予定です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：2012年に発症した早剝症例の詳細

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内
で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの
代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先まで
お申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学医学部附属病院 産婦人科

研究責任者名 小谷 友美

住所 名古屋市昭和区鶴舞町65

電話 052-744-2261

FAX 052-744-2268

苦情の受付先：

名古屋大学医学部総務課

電話 052-744-1901